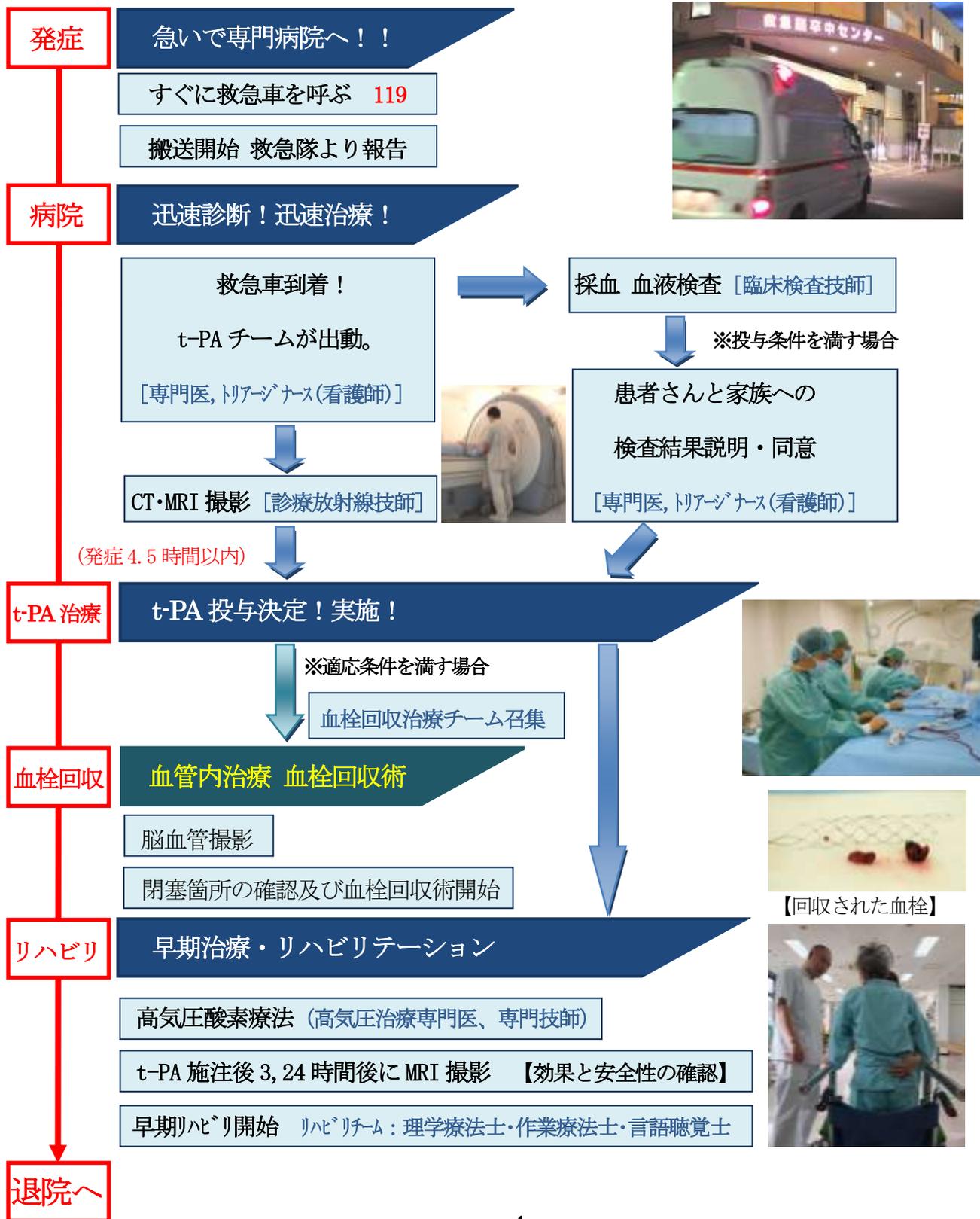


当院の超急性期 t-PA 治療 血栓回収術フローチャート



【当院実績】



【t-PA (血栓溶解療法) と血栓回収術】



【救急搬送件数】

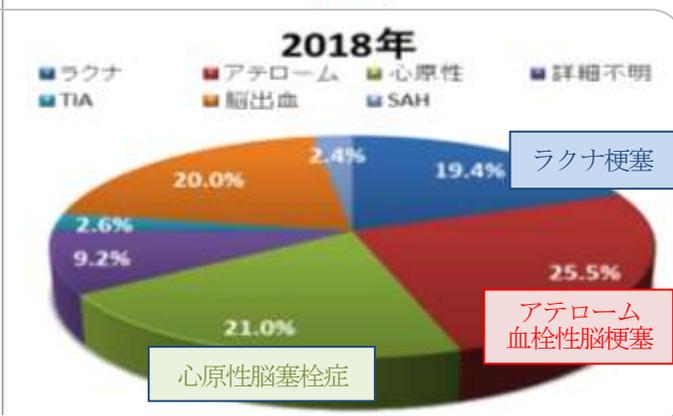
【当院脳卒中疾患の内訳変化】

ラクナ梗塞が減少 (45.0%→19.4%) し、アテローム血栓症が増加 (6.4%→25.5%) しています。心原性脳塞栓症は 20% 近くを占めています。



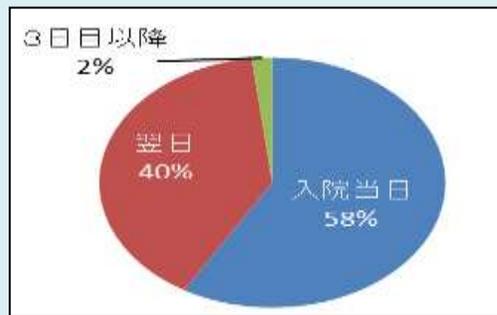
ラクナ梗塞 アテローム血栓性脳梗塞 心原性脳塞栓症

※ 一般社団法人 長野県医師会脳卒中ノートより



【リハビリの早期介入】

現代の脳卒中リハビリはなるべく早期から行うことがその後の予後に良い影響を与えていると言われています。当院では脳梗塞の患者はほとんどが入院から2日目以内に介入し、より良い回復を目指しています。



【入院からリハビリ介入までの日数】